

平成 20 年 12 月 5 日

沖縄電力株式会社

「平成 20 年度 地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の受賞について ～対策活動実践部門に「残波しおさいの森づくり」植樹活動～

当社は本日、環境大臣より「平成 20 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰」(対策活動実践部門)を受賞いたしました。

この表彰は、地球温暖化の防止に関し顕著な功績のあった個人や団体に対し、その功績をたたえて環境大臣が表彰するものです。このたび、沖縄県より当社の植樹活動をご推薦いただき、同賞の受賞となりました。

当社では、自然とのふれあいの場としての森の創造及び地球温暖化防止対策の一環として緑化推進を図ることを目的として、平成 16 年度から沖縄県中頭郡読谷村において「残波しおさいの森づくり」に取り組んでいます。このたびの受賞は、平成 16 年度から継続して地域のみなさまや植栽ボランティアの方々と共に実施してきた本植樹活動による県土緑化への貢献度並びに地球温暖化防止活動について評価をいただいたものです。

今後も引き続き、「地域とともに、地域のために」をモットーに、地域の方々と共に緑化活動を行い、地球温暖化防止に貢献してまいります。

【別 紙】

- ・「残波しおさいの森づくり」の概要

【参 考】

1. 「残波しおさいの森づくり」について(平成 20 年 4 月 14 日ニュースリリース)

http://www.okiden.co.jp/shared/pdf/news_release/2008/080414.pdf

2. 「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」の概要

地球温暖化の防止に関し顕著な功績のあった個人や団体に対し、その功績をたたえるために環境大臣が表彰を行う。

(対象部門:技術開発・製品化部門、対策技術導入・普及部門、対策活動実践部門、
環境教育・普及啓発部門、国際貢献部門)

<http://www.env.go.jp/press/index.php> (環境省ホームページ)

以 上

「残波しおさいの森づくり」の概要

1. 「残波しおさいの森づくり」について

「残波しおさいの森づくり」は、郷土の森の再現並びに地球温暖化防止対策の一環として、読谷村残波岬に本来生育する、在来の17樹種を5年間かけ、読谷村から土地の提供を受けた約4.2ha（東京ドーム約1個分）に約6.5万本の苗木と種子を、地域のみなさまや植栽ボランティアの方々と共に混植・密植しました。

なお、今後は平成23年3月まで除草、灌水等の維持管理を行う予定です。その後は自然の力により郷土の森が復元されるものと考えております。

2. 郷土の森とは

「郷土の森」とは、海に囲まれた読谷村残波岬で夏の強い日差しや台風襲来、冬の強い北風にさらされる気候条件、土壌条件下においても樹木が安定的に生育し、人為的管理を必要としない、自然植生の森のことです。

3. これまでの植栽実績

名称	開催日	面積(m ²)	植栽本数(本)			参加者(人)
			苗木	種子	合計	
第1回 植樹祭	H16.11.21	3,863	6,500	1,635	8,135	約1,000
第2回 植樹の集い	H17.04.24	4,725	5,640	3,460	9,100	約800
第3回 植樹の集い	H17.10.30	4,814	6,940	785	7,725	約600
古堅小学校による植樹	H17.12.02	60	120	-	120	約100
第4回 植樹の集い	H18.04.30	7,000	8,040	1,080	9,120	約1,000
第5回 植樹の集い	H19.04.14	10,753	13,270	1,430	14,700	約1,100
補植	H20.3.22,29	—	1,500	-	1,500	約300
第6回 植樹祭	H20.04.12	10,645	12,600	1,620	14,220	約1,200
合計	—	41,860	54,610	10,010	64,620	約6,100

4. 植栽箇所

